



関のごみ仕分け人が行く！

～ごみの分別について考えよう～

照会先 広報課 ☎ 23 - 6806

「約8億円」

皆さんご存知ですか？
関市つごみ処理のために、年間こんなにたくさん
の処理費用（収集費用は別）
を費やしているのです。私
たち市民記者も、こんなに
かかっているなんて知りま
せんでした。

広報せき市民記者のペー
ジ、今回は、私たちの生活
に密接しているごみ処理に
ついて取り上げます。



関のごみ仕分け人 服部記者

① ごみ仕分け人が「巷の噂」を仕分けする！

「ごみ仕分け人：ごみに関して、嘘か誠か、いろ
いろな噂が多すぎる！
巷の噂調査人、小鞠記者が入手した噂の真相
を、ごみ仕分け人の私がしっかり仕分けしてあ
げるわ！」



巷の噂調査人の
小鞠記者

噂その1

「洗ってあれば資源ごみ、洗わなければ
燃やせるごみってホント？」

記者 マヨネーズやケチャップの容器はプラ
マークがついているのに、分別表では燃や
せるごみに・・・。洗いにくいから？洗えば
資源ごみでもいいの？

仕分け人 チューブ状のものは中が洗いにく
いですよね。洗うにしても、ある程度の
水、洗剤などを使うことになりませう。
まあ、汚れたままなら燃やせるごみでいい
かなあと思います。

噂その2

「燃やせるごみ・燃やせないごみ」と
『粗大ごみ』の区別・・・袋に入るか
入らないかが分かれ目ってホントかい？」

記者 例えばソファやヤ
ンス。そのまま出せば粗
大ごみ。1点5000円。
ところが切り刻んで袋に
入っちゃえばタダ。おい
おい！そんな基準なの？

仕分け人 その通り。燃や
せないごみはパッカー車
で回収し、粗大ごみはト
ラックが自宅前まで取り
に来てくれます。手間を
かけて刻んで袋に入れれ
ば無料ですよ。

噂その3

「クリーンプラザ、新型の焼却炉で
何でも燃やしちゃうえ！」

記者 古い焼却炉の時は 仕分け人 クリーンプラ
燃やしていけなかった ザではプラスチック製
プラスチック製品も機 品も燃やせるそう
能が上がった新型焼却 炉なら大丈夫！洗って
ない資源ごみなど、分 別しにくいものは燃や
せるごみに！ せむごみに！
これホント？ らもつたない！

噂その4

「意外とルーズな収集ルール？」

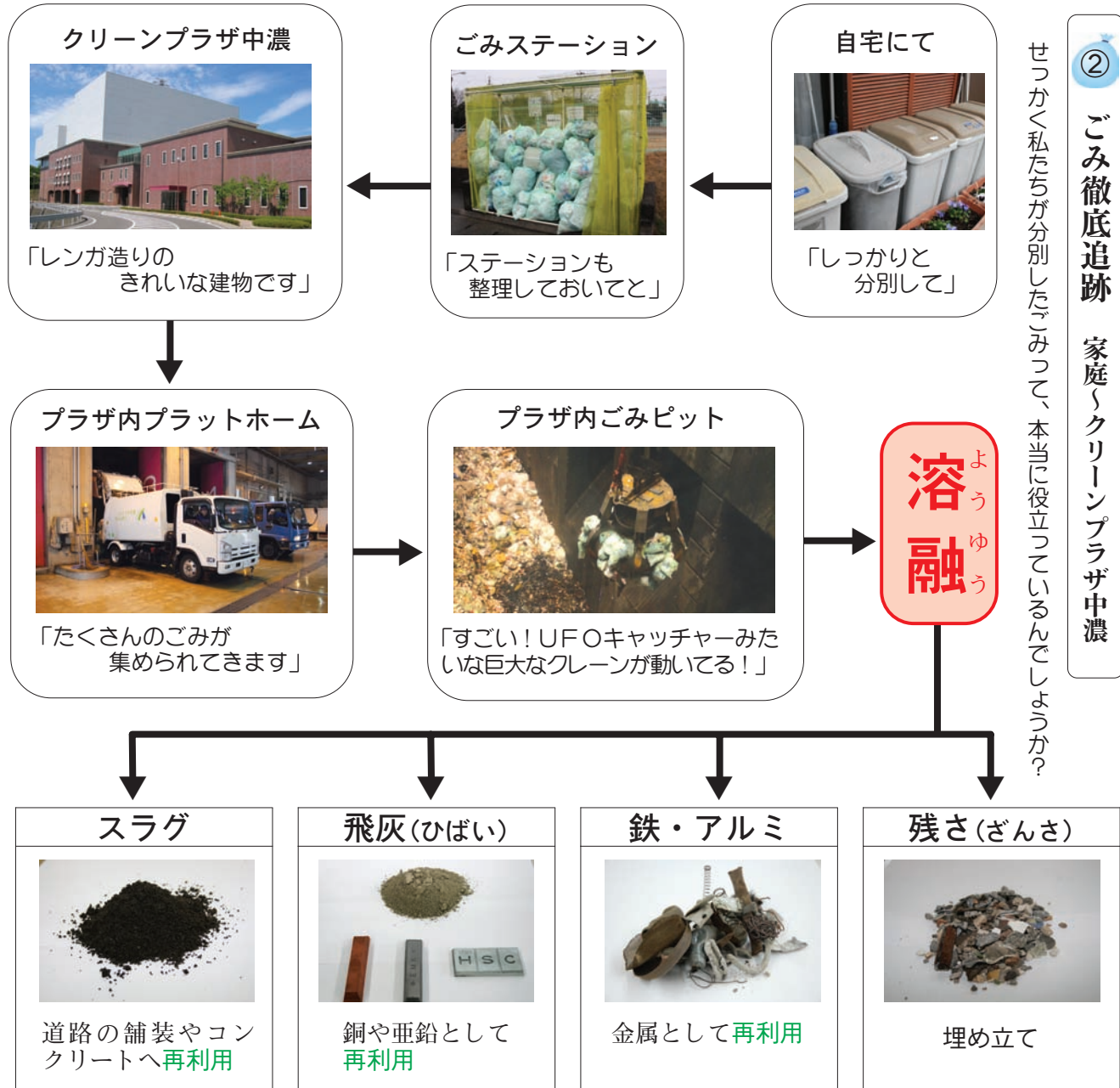
記者 ちよつと笑える目撃談。「袋に入りに
くい燃やせないごみになんと袋が張って
あった！」「袋に入らない大きさの燃やせな
いごみが袋2枚をつなげて入れてくれたら
しかもちゃんと収集していつてくれたら
いい！」なるほどそれでもOKなんだ！

仕分け人 ごみの分別収集が始まった当初は
回収されたい・・・。今は回収されな
いよ。ごみ袋に入る大きさが基準になつて
いるんですよ。

②

ごみ徹底追跡 家庭くクリーンプラザ中濃

せっかく私たちが分別したごみつて、本当に役立っているんでしょうか？



クリーンプラザ中濃について
 処理施設を
 見学してきました

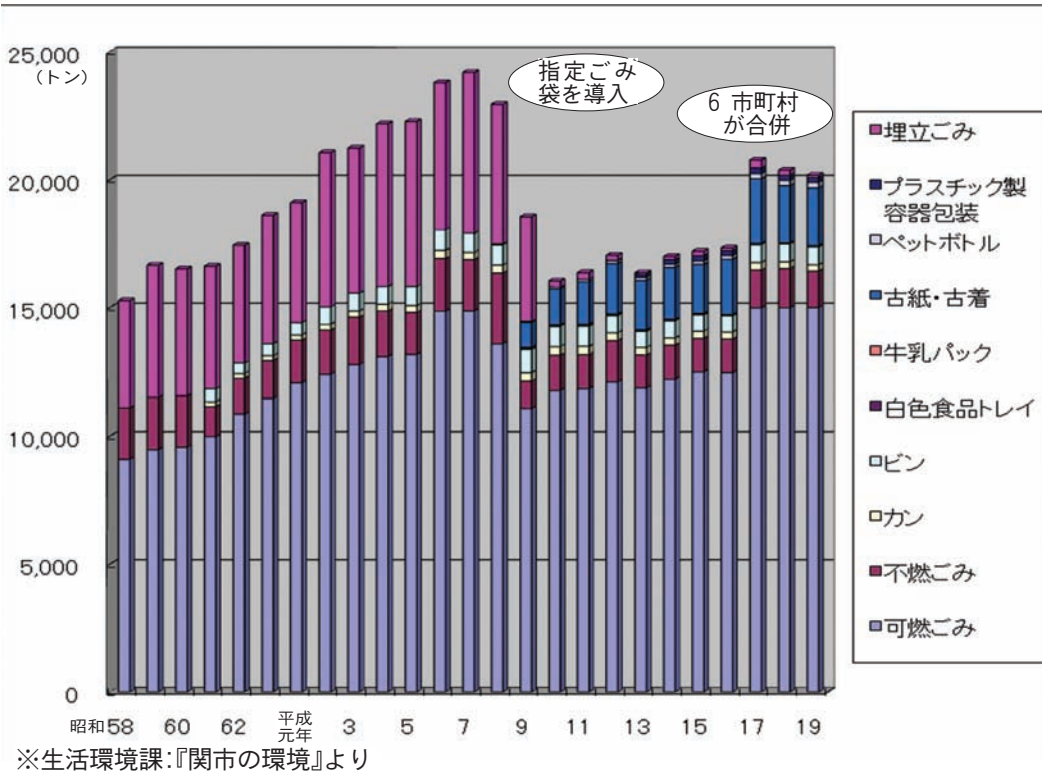
クリーンプラザ中濃は、関市と美濃市でお金を出し合って作られた施設です。ここには4つの施設があります。燃やせるごみを処理する施設(溶融施設)、燃やせないごみ、大きいごみを処理する施設(粗大ごみ処理施設)、ビン、カンなどの資源ごみを処理する施設(リサイクルプラザ)、残さを埋め立てる施設(最終処分場)です。

この処理施設の最大の特徴は、ごみを燃やすのではなく、「溶かす」こと。高温でマグマのように溶かしてしまうため、ダイオキシンなどの有害物質はほとんど発生しなくなっています。ここで出る焼却灰は「スラグ」といわれる再利用可能な砂となります。さらに余熱を利用して発電を行っています。

説明していただいた
 鶴飼 所長さん

③ 関のごみ事情は？

関市では、平成8年に指定ごみ袋制度が始まりました。左のグラフは関市のごみの量の推移です。平成19年までごみが、以前より減ったのは、ごみの分別への意識が高まってきたのか、いや、人口が減ったからなのか…。



④ 分別しないとこんなに大変！



◆集める人・クリーンプラザの人が危険！

ごみを出す市民が決められた分別と出し方をしないと、作業に当たる人たちがけがをしたり、処理施設の機械を傷めたり、爆発や火災などの危険があります。

※平成22年2月3日、不燃ごみの作業中に爆発事故が発生！

資源ごみは手作業で選別しています。汚れたものが入っていないか、違う分類のものが入っていないか、より分けて資源となるのです。

◆お金がかかるのよ

ごみを処理するには税金が使われています。10kgのごみを燃やすのに、約300円かかっています。クリーンプラザを作ったときに約100億円かかっています。また、施設の維持、管理費は1年間に約10億円。もし機械が壊れたり、爆発したりしたら、修理費が必要になるのです。これらはすべて私たちの税金でまかなわれています。市民が正しく分別することが必要ですよ。



燃やせるごみに混入した針金が巻き付いて破損



◆パッカー車が燃える

年間に数回、ごみ収集車から出火しているって知っていましたか？それはごみの中に正しく分別されていないごみが含まれているからなのです。灯油が入ったままのストーブ、乾電池が抜かれていない機械類、穴の開いていないスプレー缶など、とっても危険なんです。

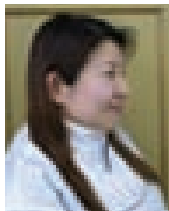
⑤ 市民記者の考え

「なんで分別できないの？」 検討してみました



平川記者 なぜ分別しなければいけないかをもっと考え、教えなければいけない

のではないのでしょうか。やれと言われるだけでは、人間動かない。なぜそれが必要なのか、学校でもいいので教える必要があるのだと思います。それが本当に今の自分たち、そして子孫とかに必要なことだと理解できれば、多少は変わるのではないのでしょうか。



下村記者 いつの間にか分別しなくてはいけない生活になっていきますが、慣れなくて、習慣がつかえません。自分で判断がつかないものが多く↓迷う↓面倒↓分別しない、という具合に。分別しなくてはいけない理由が分からないんですよね。他の市では分別しなくてもよいところもあるけれど、「なぜ関市だけ？」の疑問が付きまわってしまっています。



服部記者 ごみによつては分別表に載っていないものもあります。例えば、電池や蛍光灯。分別するときにごちらに入れてよいのか迷ってしまうと、分別をしなくなるのではないのでしょうか。



野口記者 当然ですが分別には手間がかかりますね。そのあたりは市民の意識の改革が必要かと思えます。

また、その種のごみ回収日が月に1〜2回しかなく、それまでの保管などを考えるところに面倒と思ってしまうのではないのでしょうか？ちなみに他市では、トレイ、ペットボトルはもちろん、ダンボールなどもシヨッピングセンターや民間企業などが委託されて回収の窓口になっているようです。今以上に分別しやすい環境が必要かと思えます。

⑥ 市民記者から提案します



今回の取材を通して、ごみの分別についても面倒くさいけれども、とても大切なことが分かりました。だって、分別しないと、日々汗水ながして働いている人たちを危険な目に合わせることになるのですから。それに設備の故障の原因になることで、莫大なお金がかかっていることに驚き！結局一人のおさぼりが、みんなの税金となって跳ね返ってくるんですね。

ただ、なんといつても、「混ぜればごみ、分ければ資源」。限りある資源を大切にすることが必要です。



みんなでごみの分別を進めよう。
「使い捨ての生活習慣」を見直そう。



ごみ仕分け人から一言！

市民記者 服部登世子、小鞠敦、野口善行、竹川奈穂、平川貴久、吉田幸志、下村由美子、加納裕泰、奥田靖菜、北村隆幸
コーディネーター団体 せき・まちづくりNPOぶつめらん